

1 テーマ

野鳥丸ごと調査

2 はじめの疑問

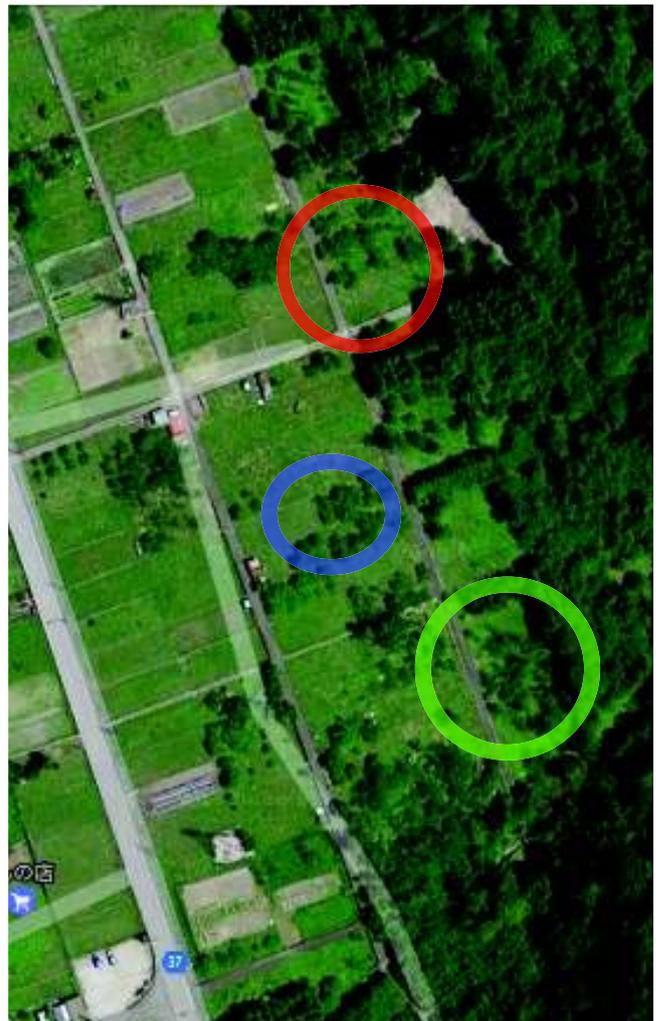
- ・ 中洲にいる鳥の種類と数
- ・ 見つけた鳥の特徴

3 調べた方法

期間11/9~1/18 6回

中洲にいる野鳥の数と種類を記録する。

- ・ 全体
- ・ ポイント



Googleマップストリートビューより

4 調べた結果・わかったこと・考察

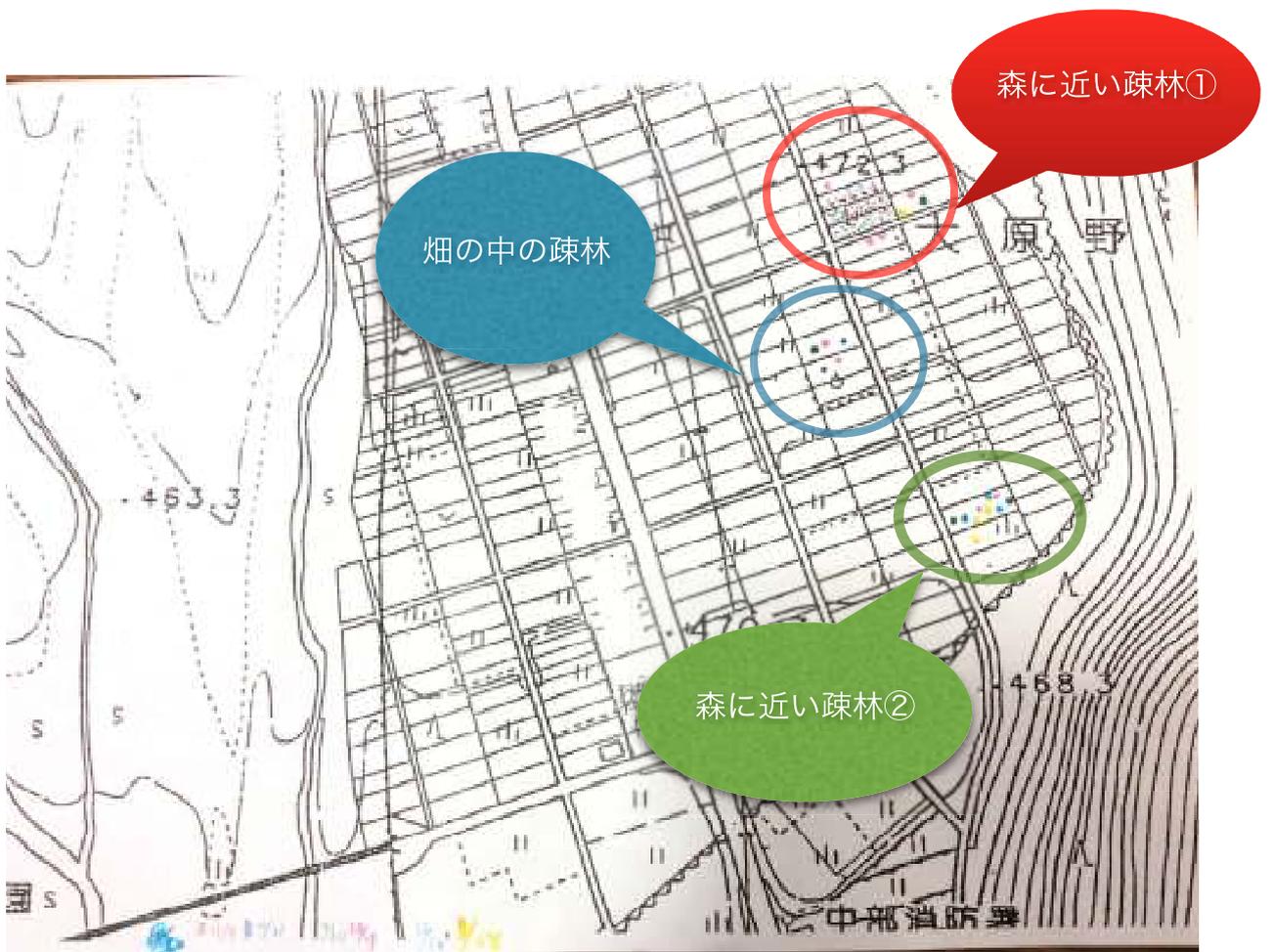
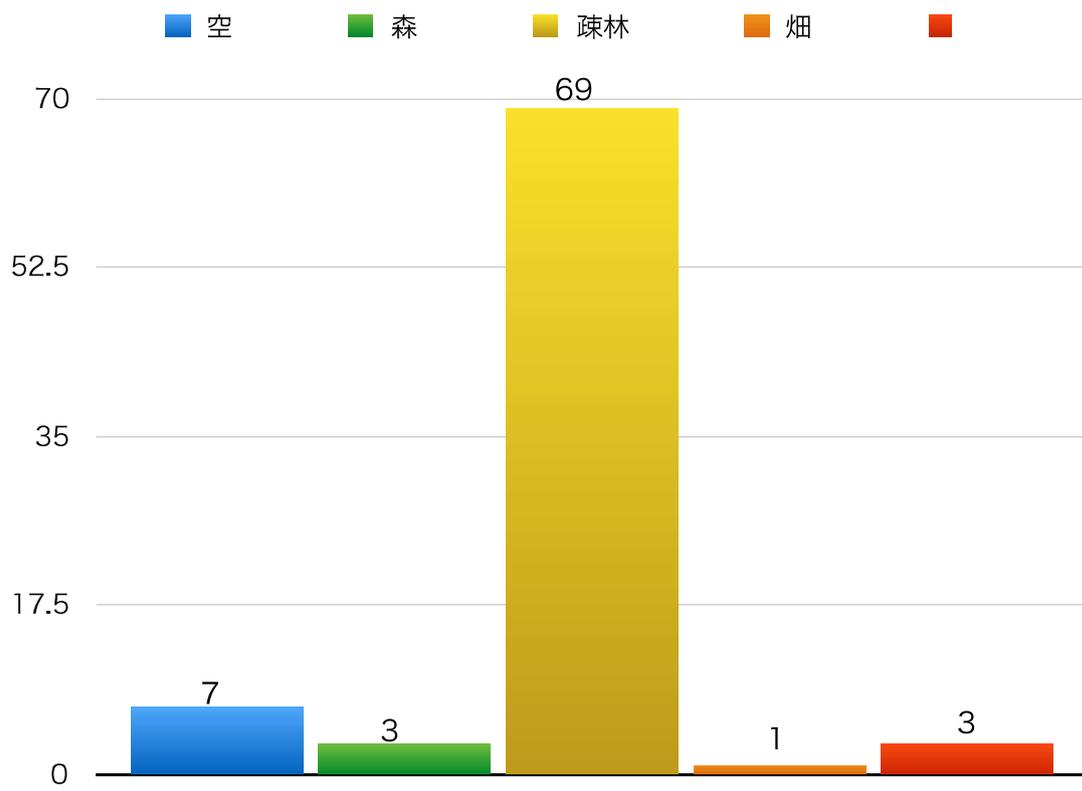
●結果1

環境ごとに見れた鳥の種類

空	・トビ ・カシラダカ ・セグロセキレイ ・ハシブトガラス
森	・ハシブトガラス
疎林	・ヒガラ ・エナガ ・シジュウカラ ・モズ ・ホオジロ ・ジョウビタキ ・ヒヨドリ ・コガラ
畑	・ヒヨドリ
地面	・コガラ ・ホオジロ ・ヒヨドリ

空	森	疎林	畑	地面
7羽	3羽	69羽	1羽	3羽

それぞれの鳥がいた環境



●わかったこと1

疎林をよく使っていることがわかった。
林より空で見かけることが多かった。

●考察1

畑の中の疎林（梅の木）

- ・周囲に森のようなものがない。
- ・道があって森から離れている。



森に近い疎林①（梅の木）

- ・周りに針葉樹がたくさんある。
- ・人の往来が少ない。
- ・森に近い。



森に近い疎林②

- ・木が高い。
- ・森に面してる。
- ・倒れている木が多く感じる。



森に近い疎林①は森からすぐ来ることが出来て、森へすぐ逃げる事が出来るから多くいるのではないかな。

森に近い疎林②は森に面しているが木が高く離れて生えているから、天敵に見つかりやすくなるから森に近い疎林だがあまりいないのではないかな。

畑の中の疎林は道があり森から離れていて逃げるのに時間がかかってしまう。

●結果2

群れでいた鳥と単独でいた鳥の種類

群れ	両方	単独
カシラダカ コガラ ヒガラ シジュウカラ	トビ ホオジロ エナガ ヒヨドリ	ハシブトガラス モズ ジョウビタキ セグロセキレイ

●わかったこと2

	種類	特徴
混群①	エナガ ヒガラ シジュウカラ	目の色が黒い 横腹が白い サイズが近い ほおが白い
混群②	カシラダカ ホオジロ	色がオレンジ 目が黒い 顔が黒白



シジュウカラ



エナガ



ヒガラ



ホオジロ



カシラダカ

●考察2

- ・他の鳥に襲われた時に逃げられる可能性を高くするために他の鳥と群れ作っているのではないか。
- ・大きさが近かったり、体の色が似ている鳥同士で群れを作っているのではないか。

5 反省・感想・新たな疑問

- ・反省 野外調査に出たとき、記録表に記録すると同時に地図上にも記録することを忘れていたから、まとめることが難しかった。
- ・感想 今回のBEANSで自分が知らない鳥に出会って、たくさん知ることが出来てよかった。色々な鳥の特徴なども知れてとてもいい勉強になった。
- ・新たに疑問 同じ条件を満たした場所も同じように沢山の鳥が来るのか調べてみたい。

6参考文献

日本野鳥の会出版 野外観察ハンドブック① 山野の鳥

7 写真提供

- ・野鳥公園